

富士電機技能研修センター 特集号 (その1:センター概要)

太田選手は2010年4月入社 of 社会人1年目。昨年10月までは、同期47名の技能系新入社員の仲間達と共に「富士電機技能研修センター」にて1年間の全寮制研修に参加していた。富士電機グループとしての『技能五輪復活』に伴い、吹上地区に訓練場所を移し五輪へと取組んで来たが、初年度研修の総括としての「技能照査」に参加するために、1/30に三重(四日市)の研修センターに戻り、研修修了に向けての教育を受講している。

技能研修センターの皆さんにご協力戴き、センターの魅力をお3回に分け、五輪ニュースにて紹介します。



技能研修センター

研修理念

人から尊敬され、物づくりが分る人材の育成

【センターの歴史と運営体制】

平成3年、『徹底した基幹技能の訓練と精神鍛錬を通して(ひとつづくり・ものづくり)を目的に』技能研修センターはスタートしました。

以来、本年度にて**20年という節目**の年を迎えており、その間**996名の修了生**を輩出、一人ひとりが富士電機グループの歴史を伝承する「現場の礎」として頑張っています。

現在は、特級技能士の資格を持った指導員と外部(座学)講師の総勢15名で5つの専門課程(**電子機器組立・電気機器組立・精密加工・機械加工・塑性加工**)を構成し、[新入社員を対象とした**技能研修生コース**]と[一般技能者を対象とした**短期基礎支援コース**]を運営しています。



フライス盤

研修方針

人から尊敬される社会人、企業人としての能力を高めます

- ◇毎日、ランニング、体育、クラブ活動を通し健全な体を作ります。
- ◇全寮生活を通し自主性・強調性を高め、規則正しい生活を身につけます。
- ◇挨拶、覇気、正しい服装、5Sを率先垂範して行います。
- ◇約束(納期)を守り、正しい言葉遣い、気配りが出来るようにします。

物づくりに必要な能力(技術・知識・管理)を高めます

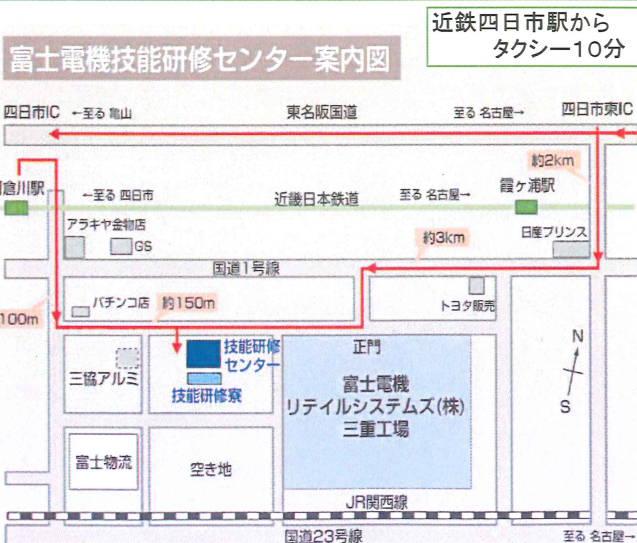
- ◇必要な専門学科を学び、修了時の技能照査試験に合格、技能士補になります。更に、国家検定2級などに挑戦します。
- ◇必要な「IE手法、品質管理、原価管理、生産管理」を座学、実習を通して学び、管理に強い人になります。
- ◇全員が、機械加工・仕上作業・板金加工・電気機器組立・電子機器組立を幅広く実習します。



座学風景



電子機器実習風景



近鉄四日市駅から
タクシー10分

〒510-0013 三重県四日市市富士町1-27 電話059-330-1527

【田畑所長】

現場での「ものづくり」は、いわゆる5M(人,設備,材料,方法,測定)の変化から発生するバラツキとの闘いです。研修センターのカリキュラムは幅広い視野から豊かな感性でものを見る技術と精神を醸成する事を目的としており、配属された各職場で必ず役立つものと考えています。

【駒田教務主任】

富士電機Grの商品群、研修生の気質などはセンターの歴史の中で随分変化してきました。その中で私たちは10代の若者が、「好奇心を持ち、技能技術で職場と社会に貢献できる」社会人へと成長できるよう、叱咤激励をしながら共に生活をして来ました。これからも各職場からセンターへのご要望に出来るだけ応えられるよう内容の見直しを図り、頑張っていきたいと思っております。